

予算特別委員会審査から③

神戸市が発表した王子公園再整備計画案に対し、動物園については「面積を広げ、動物福祉を配慮したものにすべき」「民営化、料金が上がることに反対」「老朽化した施設のリニューアルを」との声が寄せられ、当局も「否定的な意見が多かった。真摯に受け止めて再度検討していきたい」と答弁しました。動物園には①レクリエーション、②環境教育、③調査研究、④種の保存という役割があり、動物本来の魅力を出来るだけ引き出す展示方法が世界的にも主流になっています。しかし王子動物園はJAZA基準(日本動物園水族園協会飼育ガイドライン)を満たしていない所があります。今井議

- 質疑項目**
1. リニューアル案の検討と意見の反映について
 2. 飼育環境の改善について
 3. 種の保存の取組みについて
 4. 動物科学資料館について
 5. 今後の展示方法の検討について

員は「特に大型動物、キリンもアムールトラも基準の半分の広さしか確保していない。アジアゾウは運動場が狭くプールもない。JAZA基準をどう考えているか」と質しました。

答弁ダイジェスト

加古王子動物園長：守っていきべき基準と捉えている。それに沿うよう工夫していきたい。

今井議員：今の広さでは駄目だ。プールも整備して、ゾウらしく生きて行ける

3月7日

動物園をよくしてほしいという多くの市民の声を反映したリニューアルを建設局審査で今井議員



質問する今井さきこ議員

様にすべきだ。動物たちが自然な形で過ごせる、そして観に来る人たちも楽しめる、多くの市民の思いにこたえた動物園をつくるべきだ。

ので限られた人のみだ。全ての業者が転換できるわけでない。

豊永副局長：事業継続支援と新たなチャレンジ、あわせて実施することが大切。まずは飲食店向け協力金、事業復活支援金、そしてポストコロナを見据えた新たなチャレンジで業態転換していただくことで将来的に発展していくことを目指した施策だ。

大かわら議員：申請のハードルが高いうえに、採択数も限られている。神戸の中小企業6万件以上ある中で500件ぐらいだ。これでは効果は限定的で全く足りない。

3月7日

中小業者への直接支援こそが神戸経済立て直しの近道
経済観光局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

コロナ禍で中小業者はさらに厳しい状況におかれています。ところが神戸市の予算は、国や県の支援制度が充実していると、わずか15億円程度に止まっています。大かわら議員は、「申請書や添付書類に不備があると承認されない不備ルー

神戸市の来年度予算では、都心三宮の再整備に178億円が計上されています。本会議で市長は「外的要因に左右されない強い基盤の確立のために都心三宮のイノベーションが必要だ」と説明しましたが、この2年間、コロナという外的要因に大きく左右されてきました。味口議員は、コロナ前の観光客やIT企業などの呼び込みを基本とし、さらに市民の公共施設を明け渡すような計画は見直すべきと質しました。

- 質疑項目**
1. 中小業者支援の強化について
 2. 正規雇用を増やすための施策について

プに陥っている事業者”や“要件にあわずに支援をうけられない事業者”などを紹介。また国・県の制度は利用できる人が限定的であることや、額が不十分であることを指摘し、「中小業者への支援こそが神戸経済立て直しの近道だ」と追及、直接支援を求めました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：兵庫県中小商工業研究所の景況調査分析結果でも前期に比べて後期はさらに悪化している。支援策が本当に今の状況にあっているのか疑問だ。事業再構築補助金が有利と言われたが、新たな事業展開や業態の転換を求めるも

- 質疑項目**
1. 都心・三宮再整備の見直しについて
 2. 西神戸ゴルフ場の転活用による産業用地の整備について
 3. 垂水駅前再開発バスの減便について

答弁ダイジェスト

味口議員：もともと公共施設である区役所・勤労会館・図書館・公園やサンパルを明け渡して建てるバスターミナルビルだけでも520億円も市が負担する集中
(2面につづく)

3月8日

市民サービス切り捨てながら三宮に巨額投資する計画撤回せよ
都市局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

投資だ。建物の延べ面積は4万8590平米だが、市が権利床として取得する面積はどれだけあるのか。

3月8日

政令市初の高齢者補聴器 購入助成制度をつくれ 福祉局審査で森本議員



質問する森本真議員

全国各地の自治体で、高齢者への補聴器購入助成制度が広がっています。国立長寿医療研究センターの調査結果では難聴と認知機能低下との強い関連性が見いだされ、日本では補聴器の導入や使用率が世界的にも低いことや、健診による早期難聴の検診が必要だとも言われていま

水道局は水道事業緊急経営改革に基づき、5つのセンターを3つの事業所へ縮小・再編し、給水と料金に関わる業務の多くを民間に移行、震災前から39%減らしてきた職員をさらに100人減らそうとしています。現場からは、既に市民サービスの後退や技術継承への不安の声が上がっています。これまで急激な多量利用があったとき、市営住宅の漏水の場合は管理センター、認知症などの場合はケアマネージャーなど、福祉的な連携で対応してきたが、民間委託されれば業者では不可能で

3月9日

スポーツ施設の 廃止は撤回すべき 文化スポーツ局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

王子公園再整備基本方針に寄せられた5632件もの市民意見の多くは、プールやテニスコート、サブグラウンド、陸上トラックなどの廃止に対する疑問や反対の声でした。サブグラウンドは毎朝のラジ

光平担当部長：図書館で約3100、ホールの一部で約1100平米ある。

味口議員：10分の1になっているではないか。市民の共有財産である施設を明け渡し、民間事業者に思う存分儲けさせ

1. 高齢者施設等のクラスター防止(いのちを守る取り組みの強化)について
2. コロナで困っている市民への施策周知について
3. 生活保護制度についての神戸市の考え方について
4. 高齢者の補聴器補助について
5. 国保のコロナ傷病手当の事業主追加について

質疑項目

す。森本議員は「認知症対応日本一のこの神戸で高齢者の健康診断に聴力検査を追加すること、4万人が受けている日本一の認知症検診において、加齢性難聴の状況について調査するべき」と提案し、高齢者の補聴器購入助成制度の導入を求めました。

答弁ダイジェスト

上田副局長：加齢性難聴を難聴とするか、認知症の関連については、明確な工

1. 「緊急経営改革」による人員の見直しについて
2. 水道局における福祉的対応について
3. 大規模災害への対応について

質疑項目

す。人員の集約化による現場到着の遅れは、また災害時に深刻な影響を与えます。緊急経営改革は撤回するよう求めました。

答弁ダイジェスト

田中副局長：日常の業務と災害の業務をバランスよく総合的に検討して取り組んでいく。

西議員：災害時はマンパワーが大事だ。人員だけではないと言うが、どれだけ危険なことかと思う。一方で、神戸市の水道局の危機管理対策マニュアルは具

1. 王子公園の再整備の見直し
2. 市民の文化活動への支援について
3. 図書館整備について

質疑項目

才体操や部活などに使われており、存続を求める声や説明を求める声が多数あがっています。山本議員は「王子公園は市民が広く日常的に利用している施設。廃止の対象となっている施設は存続すべき」と求めました。

答弁ダイジェスト

山本議員：テニスコートは、公営・民間合わせても数少ない貴重なハードコートで、比較的安く利用できる。年間3万

る構図になっている。これがバスターミナルビルの実態だ。限りある財源と言って市民サービスを切り捨て、一方で底なし沼のように予算をつぎ込むような再開計画はやめるべきだ。

ビデンスはまだ出ていない。国の研究結果を注視している。

森本議員：エビデンスはほぼ出ている。日本一の認知症検診をしている神戸市が、この問題について向き合い、政令市初の高齢者補聴器購入助成制度をつくるべきだ。

森下局長：そうではないかというところまで来ているのは承知しているが、今後注視していきたい。

森本議員：4万人も認知症検診している自治体は神戸しかない。高齢者の認知の特徴について明らかにする機会であるし、研究していただきたい。

3月9日

市民の生活と 命を守れる体制を 水道局審査で西議員



質問する西ただす議員

体的でない。市民の命に一番つながるところは、しっかりと対応すべきだ。

田中副局長：市民の命に関わることなので、今後も精査していく。

西議員：コロナでの経営悪化を水道局に負わせるやり方では命は守れない。一番大事なのは人の命。必要な人員を求めるべきだ。

3000人が利用している。「ハードコートはボールの勢いが全然違うので大事な経験ができる」などの声を聞いている。一番大事なのは利用者だ。この声をきちんと受け止めて存続の判断をすべきだ。

加藤局長：数少ないハードコートは承知している。一方で60年以上たっており老朽化が進んでいる。パブコメの意見を踏まえ、いろんな可能性含めて検討していく。

山本議員：老朽化の問題と廃止の問題は別問題だ。老朽化がひどいなら補修したらいい。限られた土地に大学を誘致しようとするからしわ寄せがくる。今の素案は撤回するよう強く求める。